



奥野りん子

無所属 市議7期



1961 年生まれ/ 沖縄県出身/ 中央大学進学により日野市民となる/
特技は口笛と洋裁/ 趣味/花育て/ 1998 年日野市議会議員当選/ 7 期

ごあいさつ

市議会議員になって、二十八年が経ちました。

三十六歳の時、子ども5人を抱えて初当選！

よく市民から聞かれたのが、左記の質問です。

避妊・中絶ができなかったの？

「いえ、3か月から保育園に入れるよう、12月生まれが3人もいます。計画的に産みました。」

当時、私も公立保育園の「ゼロ歳児の定員拡大」の署名活動に取り組みましたが、日野市がその要求に応えてくれた事により、東京に身寄りのない私でも、五人の子を産み育てる事が出来ました。

これからも、保育の質の担保や、安心して結婚や出産、子育てができる環境を整備して参ります。

非正規なのに、育てる自信はあったの？

「はい。子どもは社会の宝なので、社会にも育ててもらおうつもりでした。」見栄など無いので、その言葉通り、三人目の子は、出産扶助を申請し、市から里帰り出産の交通費を支給して頂きました。

子どもたちには、大学で学びたい時に親が落選していた場合は、働きながら夜間部で学ぼう、言い聞かせてきましたが、今では、三人が医者に、一人が教師になり、社会のために尽力しています。

「女のくせに!」…バッシングの嵐!

議員になってみたら、男性議員からのヤジで、自分の発言が聞こえないほどでした。女性蔑視と戦い続けているうちに、遅くなった気がします。

今や、怖いものはありません。社会の理不尽から、あなたを守るために、全力を尽くします。